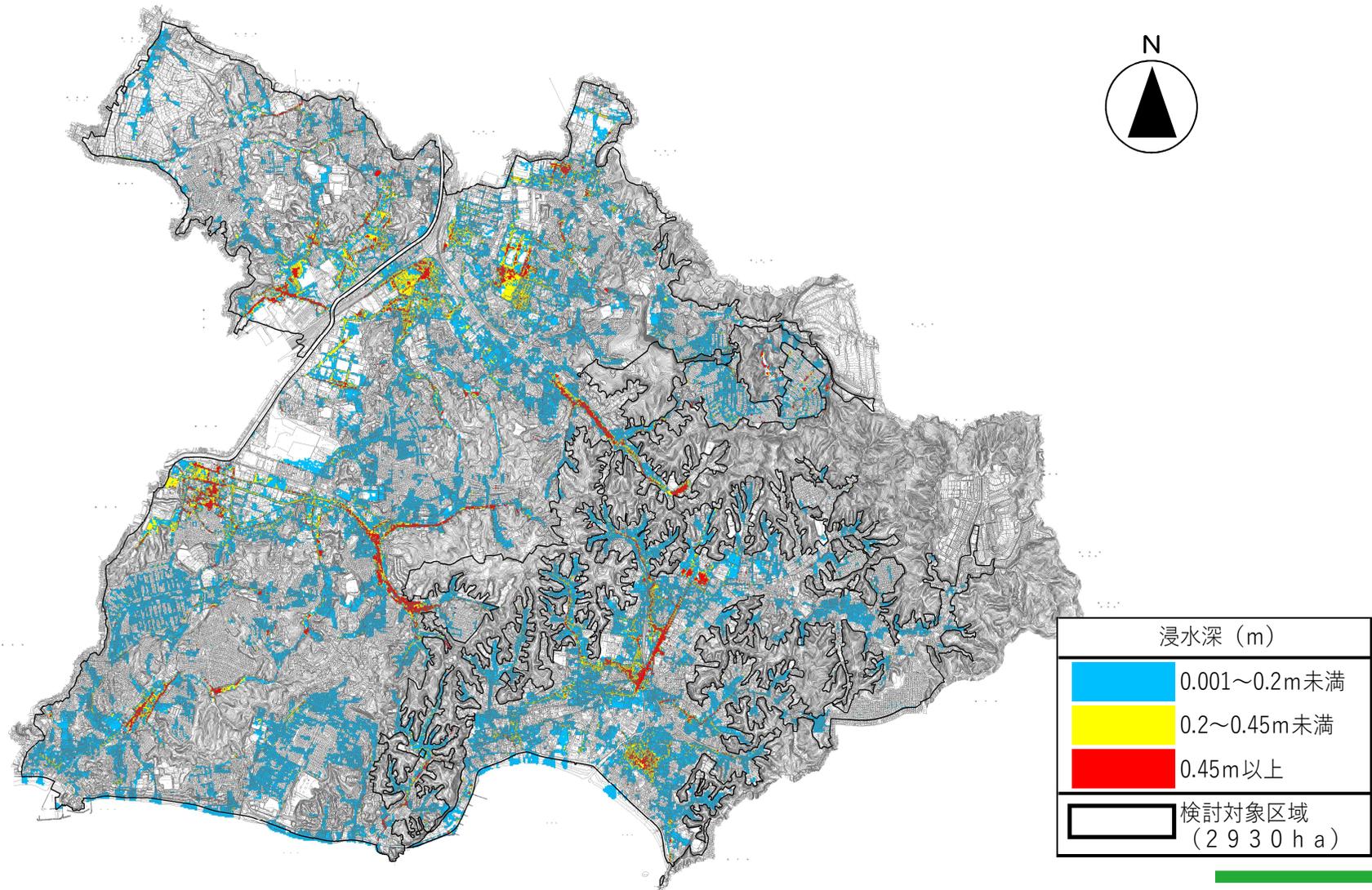


5 雨水管理方針(検討案)

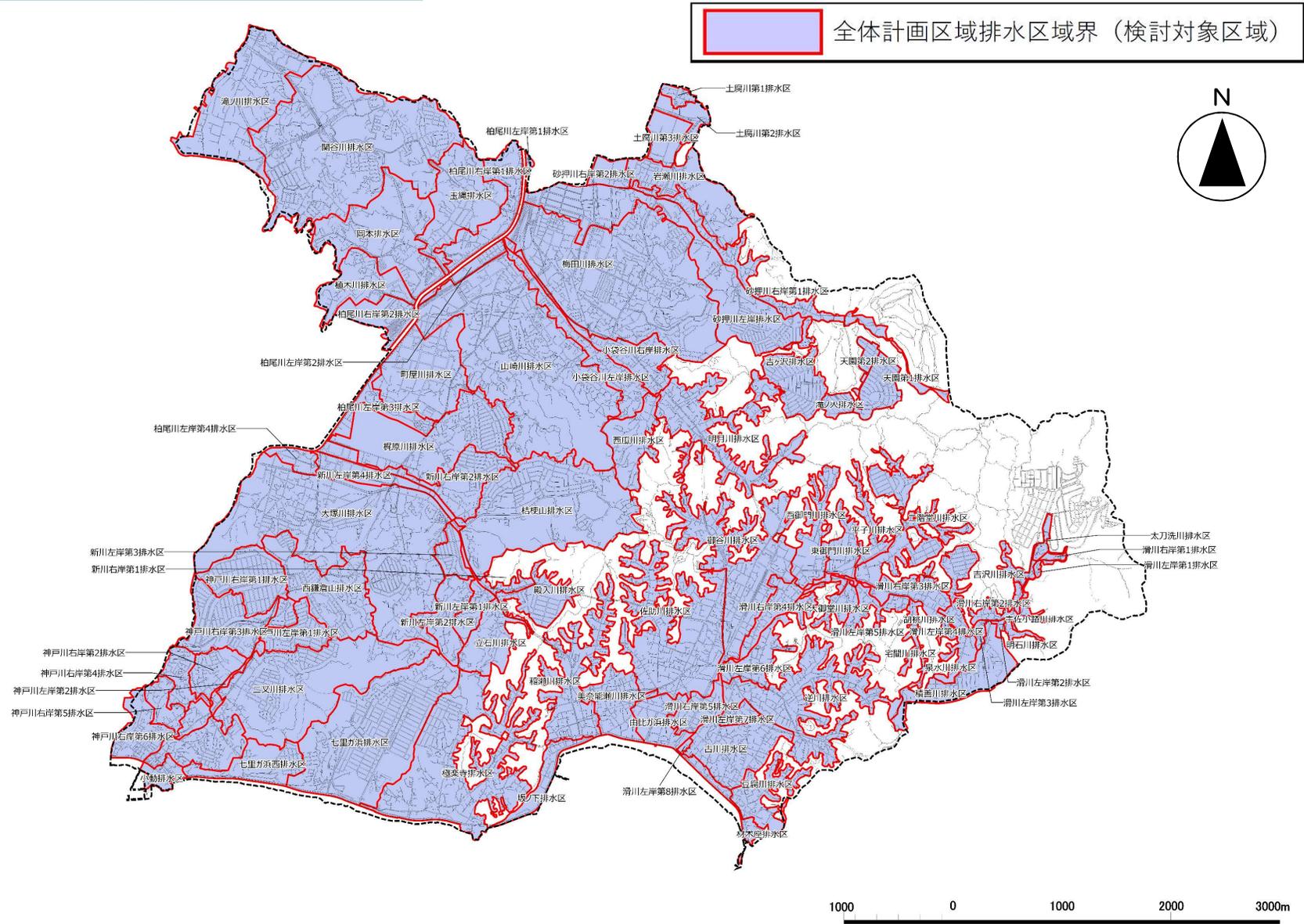
1) 検討対象区域



浸水想定区域図(想定最大規模降雨[外水位の影響あり])

5 雨水管理方針(検討案)

2) 地域(ブロック)分割



5 雨水管理方針(検討案)

3) 地域ごとの目標設定 ① 評価指標の設定 ② 評価指標評価指標数量把握

| 分類 | 項目 | 細目 | 単位 | 算出方法 |
|----------|---------|-----------------|----------------|---|
| 浸水リスク | 浸水実績 | 床上浸水 | 件 | ブロック別に浸水実績の件数を整理する必要があるため、平成16年台風22号、平成26年台風18号の浸水実績図から浸水実績を整理しました。 |
| | | 床下浸水 | 件 | |
| | | 道路冠水 | 件 | |
| | 浸水危険度 | 浸水深さ0.45m以上 | ha | 令和4年度に作成した鎌倉市内水浸水想定区域図の解析結果を基に浸水深さ別に面積を計測して整理しました。 |
| | | // 0.2m~0.45m未満 | ha | |
| | | // 0.2m未満 | ha | |
| 都市機能等重要度 | 都市機能集積度 | 資産集積度 | m ² | 鎌倉市都市計画基本図を用いて、建物の面積を集計して整理しました。 |
| | | 人口密度 | 人 | e-Stat(政府統計の総合窓口)の地図で見る統計(jSTAT MAP)に登録されている、統計データ及び境界データより整理しました。 |
| | | 鉄道利用者数 | 人/日 | 鉄道事業者提供資料(令和3年度)より、市内の鉄道駅における1日平均乗降客数より算出して整理しました。 |
| | 防災地域 | 災害時要配慮者施設 | 箇所 | 市内の学校等(幼稚園、小学校、中学校、高等学校)、保育所等、医院、福祉施設等を市のホームページのリストより整理しました。 |
| | | 避難所 | 箇所 | 避難所(ミニ防災拠点、補助避難所、一時滞在施設(帰宅困難者用)、福祉避難所、風水害避難場所)を整理しました。 |
| | | 緊急輸送路 | Km | 鎌倉市地域防災計画で定められた、第一次緊急輸送道路、第二次緊急輸送道路、緊急交通路指定想定路の延長を整理しました。 |

5 雨水管理方針(検討案)

3) 地域ごとの目標設定

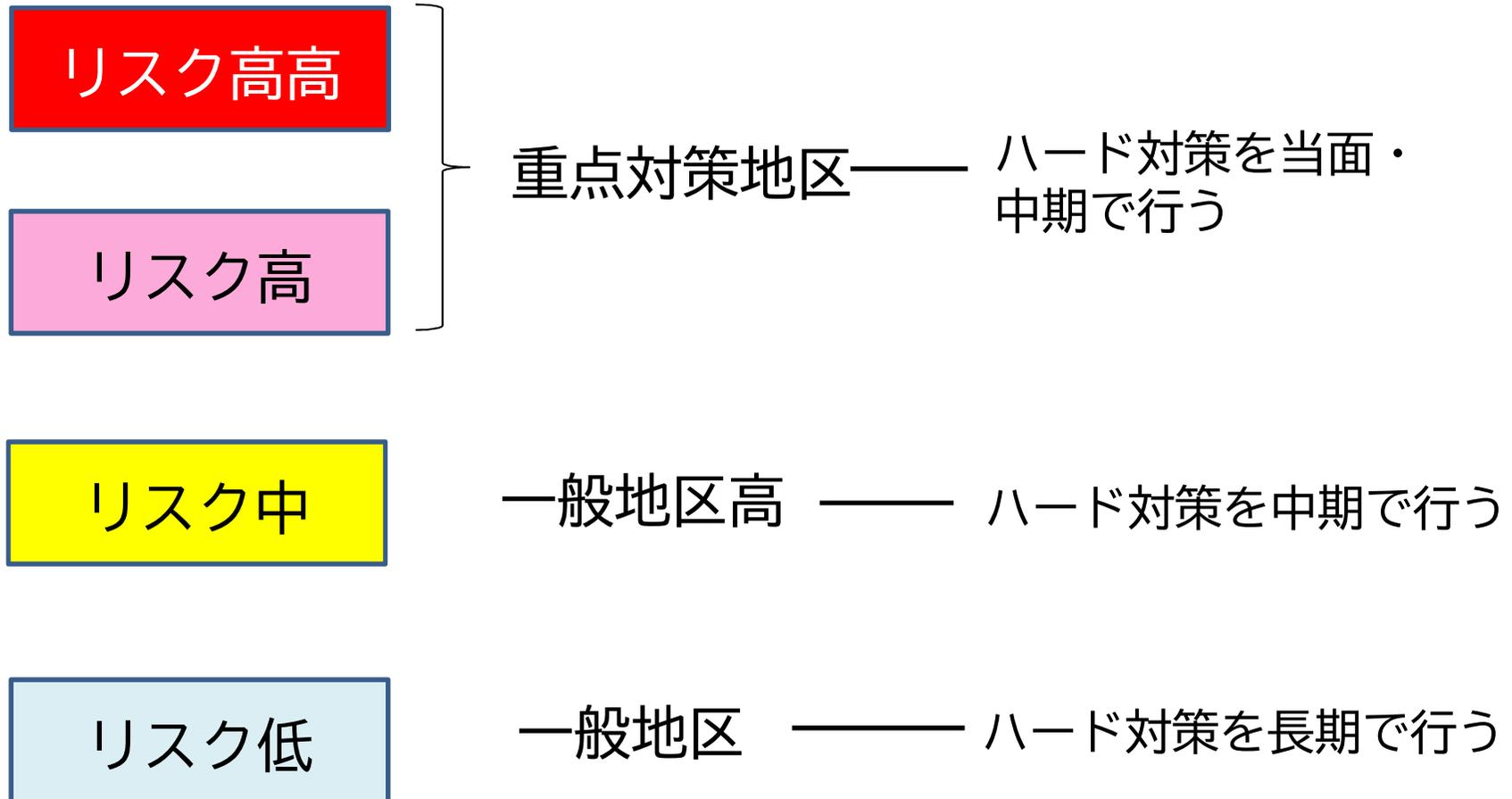
縦軸を浸水リスク、横軸を都市機能重要度としたマトリクス評価により、浸水対策を実施すべき区域を設定する。

| | | | | |
|-------|---|------|------|-------|
| 浸水リスク | 高 | リスク中 | リスク高 | リスク高高 |
| | 中 | リスク低 | リスク中 | リスク高 |
| | 低 | リスク低 | リスク低 | リスク中 |
| | | 低 | 中 | 高 |

都市機能等重要度

マトリクス評価

■ 5 雨水管理方針(検討案)



5 雨水管理方針の策定

3) 地域ごとの目標設定

| 項目 | 防災対策 | | 減災対策 | |
|-----------|--|--|---|---|
| 対象降雨 | 計画降雨 | | 照査降雨（計画を上回る降雨のうち、減災対策の対象とする降雨） | |
| | 重点対策地区 一般地区（高） 深沢地区区画整理 事業関連 | 一般地区 | 照査降雨 既往最大降雨 | 照査降雨 想定最大規模降雨 |
| | 気候変動を踏まえた 10年確率降雨 $I = \frac{4,725 \times 1.1}{(t + 27)}$ (59.7mm/hr) | 10年確率降雨 $I = \frac{5,600}{(t + 38)}$ (57.1mm/hr) | 平成16年10月8 日・9日実績降雨 (78.5mm/hr) | 平成16年10月8日・9 日引き伸し降雨 (153.0mm/hr) |
| 目標 | 計画降雨を対象とした浸水防除により、浸水被害 ^{※3} を概ね解消する | 計画降雨に対して概ね整備済みと整理し、局所的な浸水危険箇所にて必要に応じて対策を行う | 減災を目的とした浸水軽減による床上浸水を概ね解消（一定程度の浸水を許容） | 安全な避難の確保 |
| 対策 | 計画降雨に対するハード対策 整備済み下水道施設の維持管理 | 浸水危険箇所の局所対策 整備済み下水道施設の維持管理 | 下水道事業によるハード及びソフト対策を組み合わせた対策 多様な主体との連携による総合的な対策 | ソフト対策 |
| 既存ストックの活用 | 整備途上においては、下水道の既存施設の圧力運用により能力を評価・活用し、早期の浸水被害解消を目指す | | 下水道の既存施設の圧力運用により能力を評価・活用し、下水道以外の施設も含めた既存ストックを最大限活用することで、減災目標の達成を目指す | |

5 雨水管理方針の策定

4) 段階的対策方針

段階的整備目標

| 段階的整備 の時間軸 | 計画降雨 重点対策地区と一般地区(高) (新10年確率降雨)59.7mm/h (精査中) 一般地区 (10年確率降雨)57.1mm/h | 照査降雨 (既往最大降雨) 78.5mm/h | 照査降雨 (想定最大降雨) 153.0mm/h |
|---------------|--|------------------------------|-------------------------------|
| 当面 | 床上浸水解消 | 床上浸水一部解消 | 安全な避難確保 逃げ遅れゼロ |
| 中期 | 床下浸水解消 | 床上浸水解消 | |
| 長期 | 浸水解消 | 床下浸水解消 | |

重点対策地区においては、本市の主要駅である鎌倉駅、大船駅付近の既に市街化の進んだ土地利用の密度が高い地区であり、用地確保や他占用物による輻輳する地下空間の施設等、事業実施に向けて調整すべき事項も多いことが予測される。

この様なことから、対策目標を早期に実現することは難しいため、計画期間は標準値よりやや長めの以下の期間を設定した。

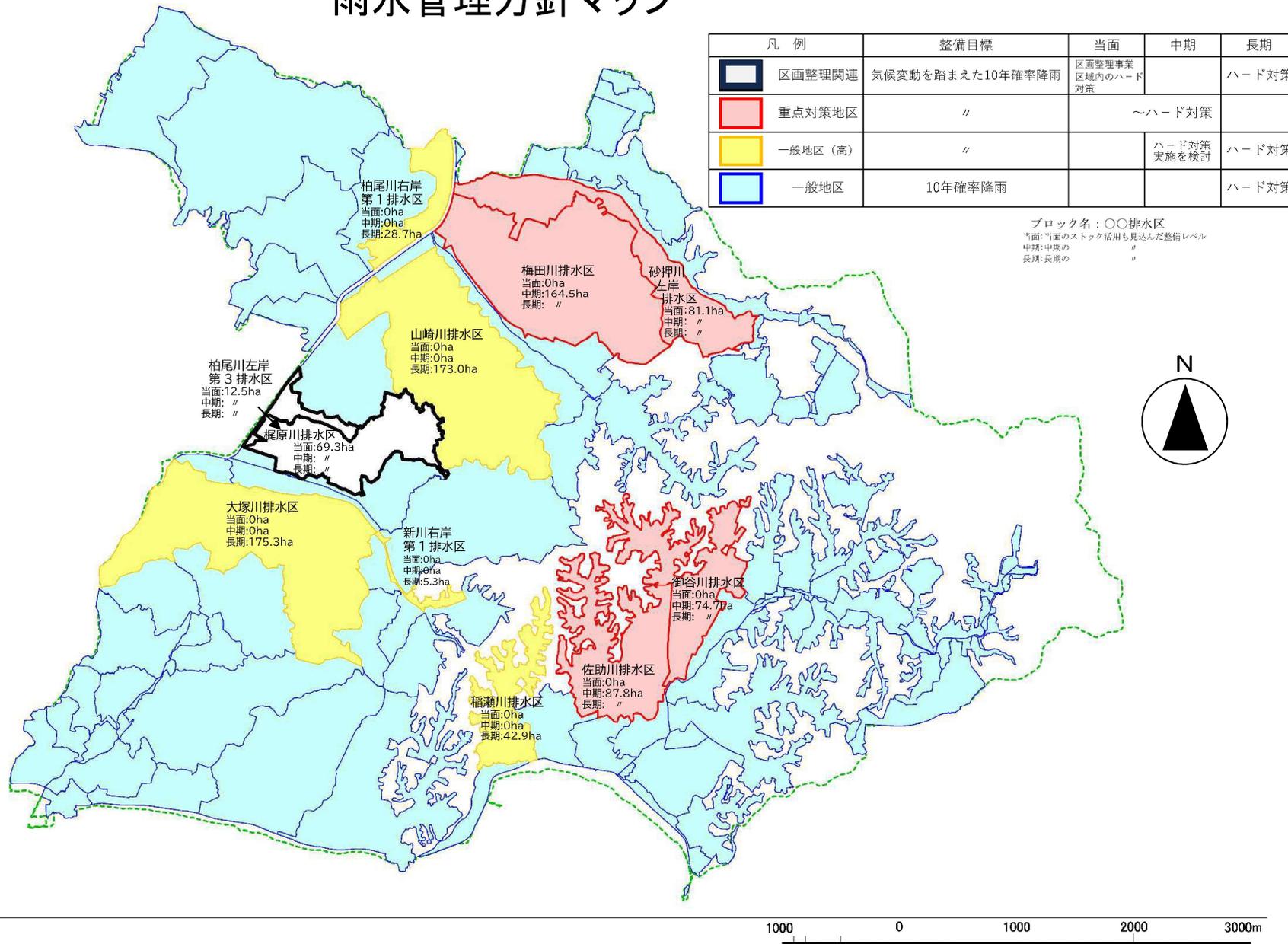
当面：5年～10年以内

中期：約20年以内

長期：それ以上（約30年以内）

5 雨水管理方針の策定

雨水管理方針マップ



以上で、説明を終わります。